

大学自己評価部会だより

第52号 (平成29年7月)

九州歯科大学憲章(抜粋) 2. 九州歯科大学の基本理念

九州歯科大学の基本理念を以下のとおり定め、九州歯科大学がどのような人材の養成、社会貢献、研究活動を展開するのかをここに明らかにします。

- ・ 高度な専門性を持った歯科医療人の育成
- ・ 地域医療の中核的役割を果たす
- ・ 歯科医学を支える研究の推進

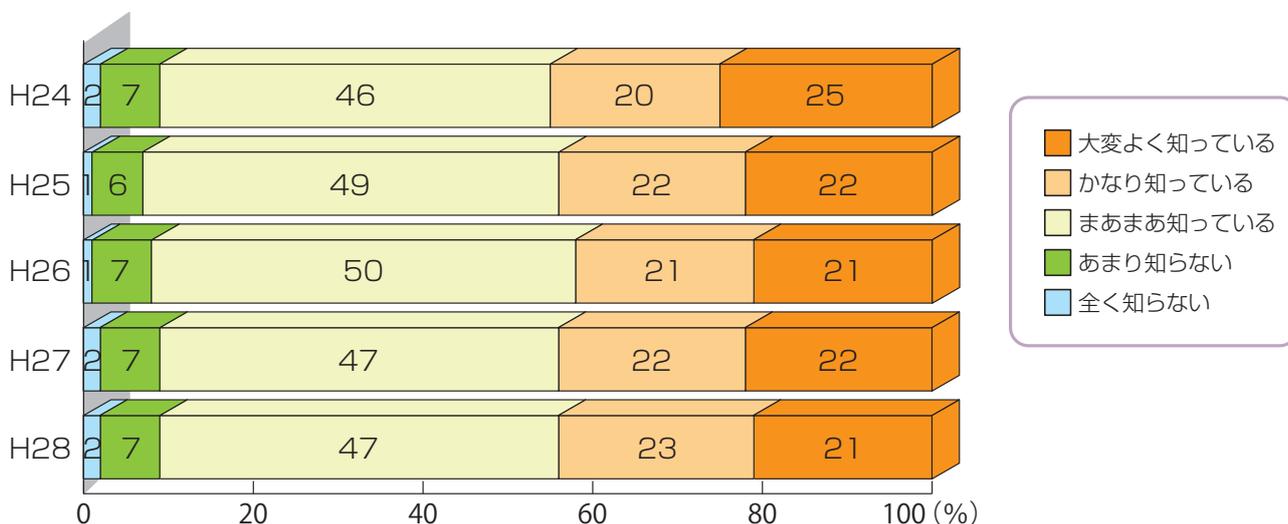
平成14年に制定された「大学の理念」は、創立100周年を機に次なる世紀に向けた新たな大学づくりに踏み出すにあたり、平成27年10月に掲げられた「九州歯科大学憲章」の中で「九州歯科大学の基本理念」としてそのまま引き継がれています。

アンケート調査結果を報告します

学部学生を対象とした大学基本理念の周知度、講義、実習および大学教育への満足度を平成24年度～平成28年度で比較しました。

① 大学の基本理念の周知度

九州歯科大学の基本理念についての周知度は、ここ数年ほぼ変化がありません。今後は1割程度となっている「あまり知らない」および「全く知らない」の割合を減らしていく必要があります。

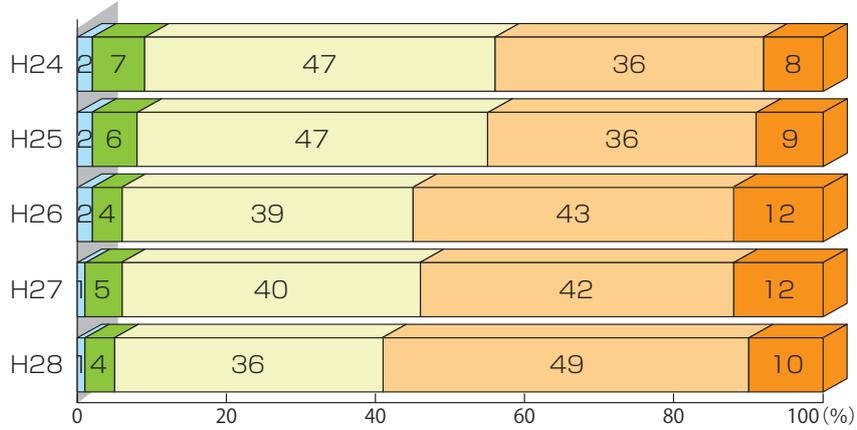




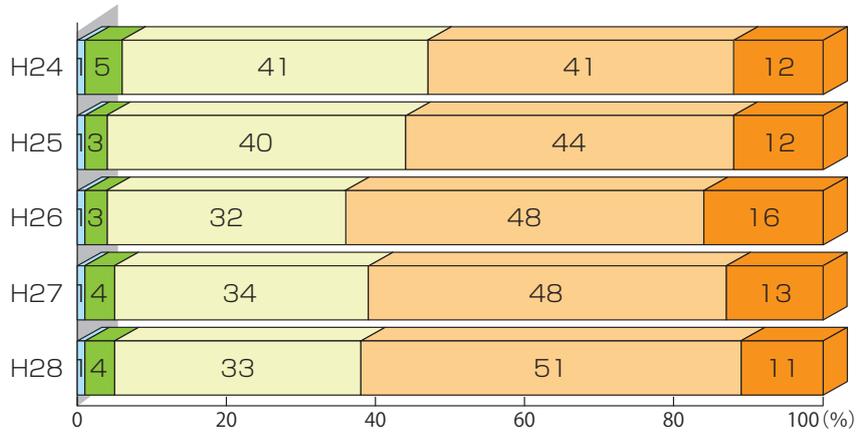
② 講義、実習の満足度

平成26年度から平成28年度にかけて、講義の満足度の大幅な増加が認められています。実習の満足度は全体として高いものの、平成28年度は26年度と比較して(高い)の割合が減少しています。今後とも実習の満足度が增加するように改善の努力を続ける必要があります。

講義の満足度

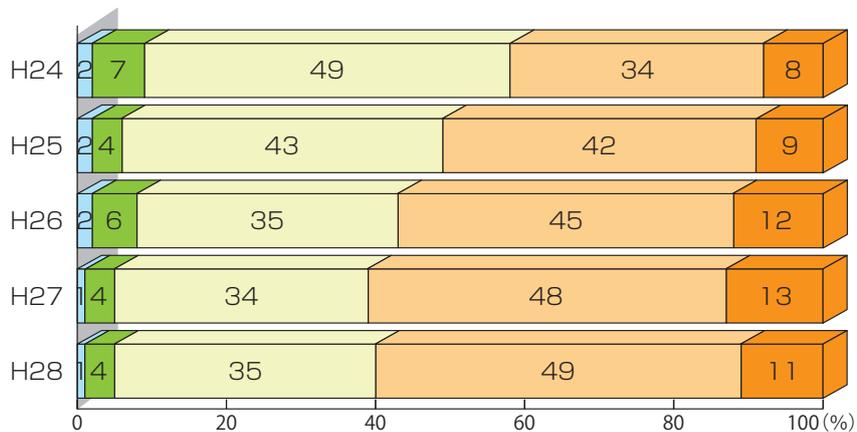


実習の満足度



③ 大学教育の満足度

大学教育の満足度は平成28年度は27年度と比べて大きな変化は認められませんでした。しかし24年度から比べると全体的に満足度の増加が認められます。大学教育の満足度がさらに増加するように今後とも教育改善の努力を続けていかねばなりません。



大学自己評価部会だより

第53号 (平成29年9月)

■教育研究目標

九州歯科大学は、基本理念の実現に向けて、以下のような教育・研究を行います。

- (1) プロフェッションとしての人間性、豊かな教養、専門知識および技能の備わった歯科医療人を育成する。
- (2) 科学的情報を正しく解釈し、根拠に基づいた歯科保健医療活動が行える人材を育成する。
- (3) 全身の健康という視点に立ち、いかなる社会構造の変化にも対応できる歯科医療人を育成する。
- (4) 多職種と連携し、歯科保健医療を通じて地域社会に貢献することができる歯科医療人を育成する。
- (5) 国際連携交流活動を強化し、国際的な視野に立って歯科保健医療活動が行える人材の育成を推進する。
- (6) 学際領域の学問分野と協働し、地域社会の発展に寄与する国際的な研究を展開する。

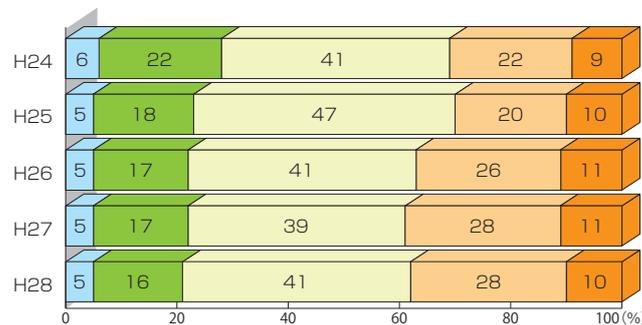
アンケート調査結果を報告します

学部学生を対象とした図書館関連施設、IT関連施設、体育関連施設等の満足度を平成24～28年度の各年度で比較しました。

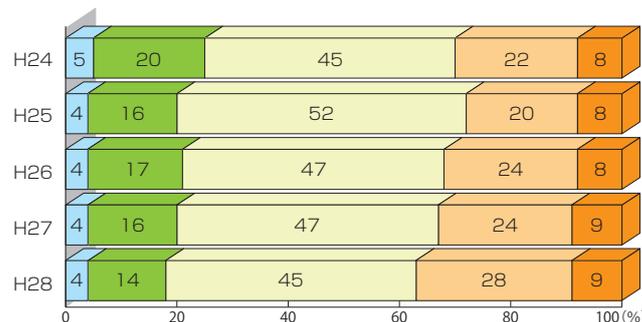
① 図書館関連の満足度

図書館の図書の満足度について、平成25年度から平成28年度にかけて、(大変満足している、かなり満足している)の割合の上昇が認められました。今後も学習環境および図書の満足度が上昇していくように、改善を継続していかなくてはなりません。

図書館での
学習環境の
満足度



図書の
満足度



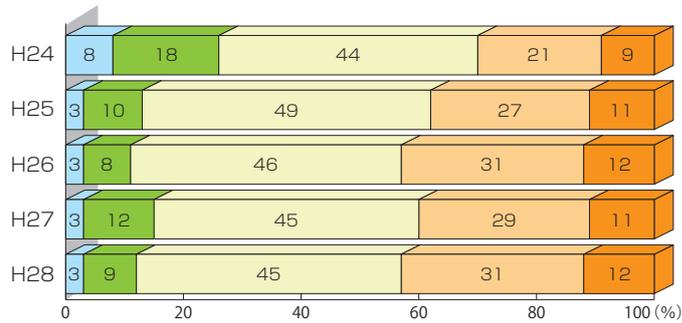
■ 大変満足している
■ かなり満足している
■ まあ満足している
■ あまり満足していない
■ 全く満足していない



② IT関連施設等の満足度

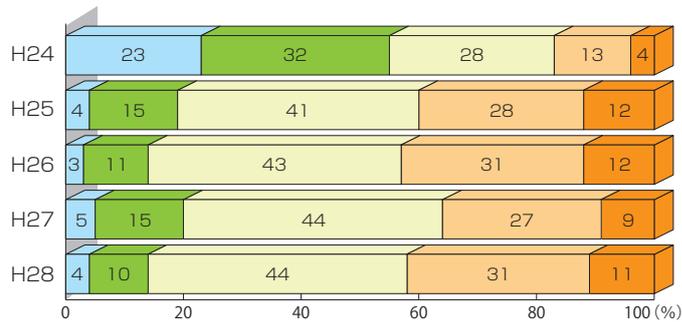
平成24年度から平成25年度にかけて、演習室およびパソコンの満足度について、(大変満足している、およびかなり満足している)の割合が上昇し、それが維持されています。

コンピューター
演習室の
満足度



- 大変満足している
- かなり満足している
- まあ満足している
- あまり満足していない
- 全く満足していない

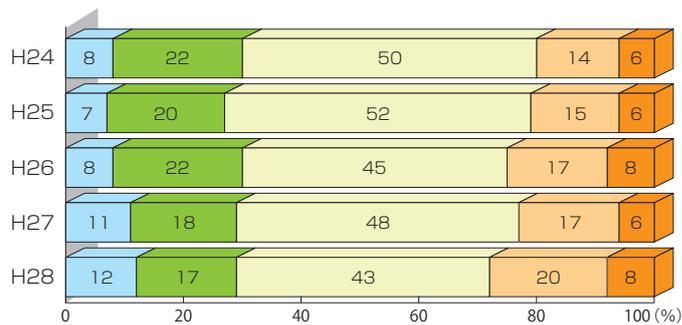
パソコンの
満足度



③ 体育関連施設の満足度

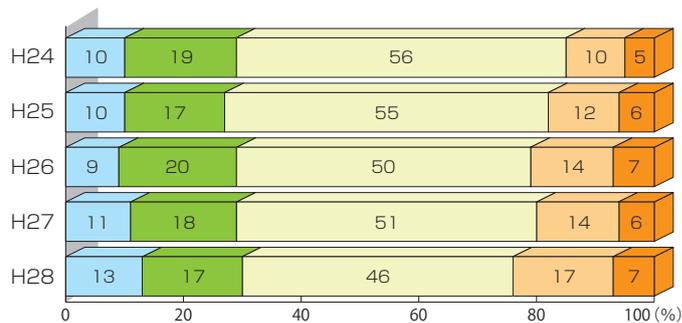
平成24年度から平成26年度にかけて、体育館およびグラウンドの満足度について、(大変満足している、およびかなり満足している)の割合が上昇し、それが維持されています。

体育館の
満足度



- 大変満足している
- かなり満足している
- まあ満足している
- あまり満足していない
- 全く満足していない

グラウンドの
満足度



大学自己評価部会だより

第54号 (平成29年11月)

■歯学科カリキュラムポリシー

1. 全人的歯科医療人として具備すべき、倫理観やコミュニケーション能力を涵養するために、人文科学系科目・社会科学系科目を充実させる。
2. 歯科医療の高度な専門知識・技能を養成するために、専門基礎分野および専門臨床分野科目を充実させる。
3. 科学的根拠に基づいた歯科医療を実践するために、ロジカルおよびクリティカルシンキングを重視した科目を充実させる。
4. 全身の健康増進の視点に立った歯科医療を実践するために、関連医学科目を充実させる。
5. 多職種連携の重要性を理解するために、学外病院施設での臨床実習科目を充実させる。
6. 医療の国際化に対応できる歯科医療人を養成するために、実践的な外国語教育科目を充実させる。
7. 問題解決能力および研究能力を醸成するために、テュートリアル教育・研究室配属などの科目を充実させる。

アンケート調査結果を報告します

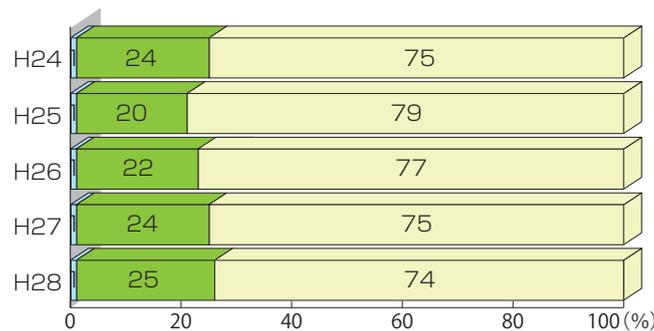
心身の健康に関する相談室の認知度、自主学習の場所と時間に関する状況および生活面でのニーズの把握の満足度について、平成24年度～平成28年度の5年間を比較しました。

① 健康に関する相談室の認知度

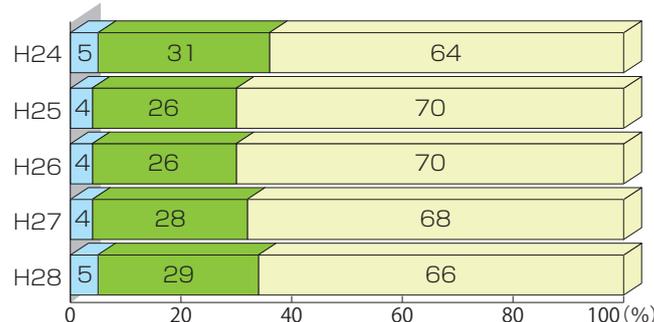
健康管理室と学生相談室(旧カウンセリング・ルーム)の認知度は高い状況です。必要に応じて学生が両施設を利用できるように、今後も現状の認知度を維持していければと思います。平成28年度の利用状況は、健康管理室が延べ509人の利用、学生相談室が延べ113件の相談件数でした。



本学に
健康管理室があるの
を知っていますか。



本学に学生相談室
(カウンセリング・ルーム)が
あるのを知っていますか。



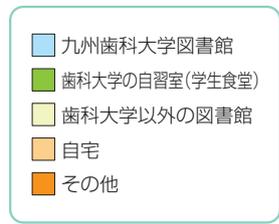
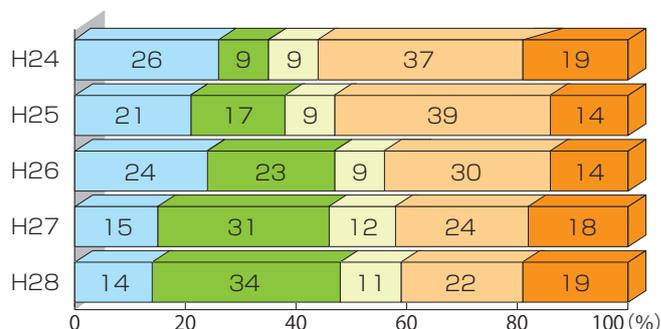
■ 知っている
■ 何となく知っている
■ 知らない

② 自主学習の場所と時間

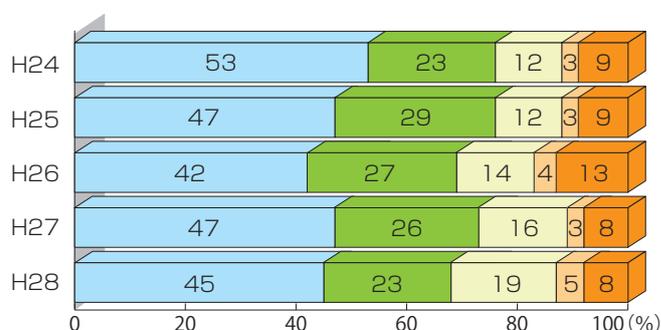
休日の自主学習場所として、学生の約半数が大学の図書館や自習室を利用しているようです。過去5年間全体として、少しずつですが、1日の自主学習時間は増加の傾向にあるように思われます。とても良い傾向です。



土日・祝祭日など、
大学が休みの時の
自主学習は主に
どこを利用しますか。



試験勉強を除く
あなたの自主学習
時間は、1日平均
何時間ですか。

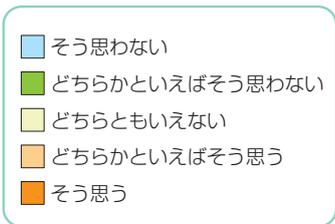
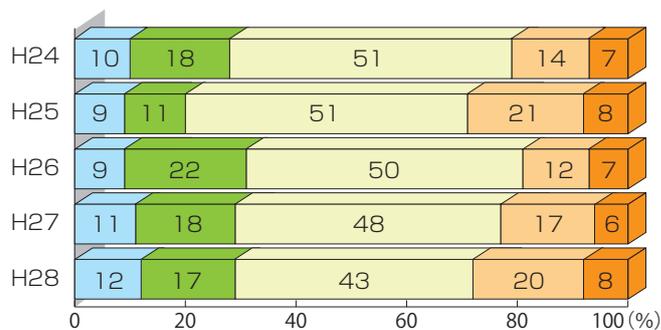


③ 生活面でのニーズの把握に関する満足度

平成26年度以降、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合は少しずつ増え、改善が見られます。しかし、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合も約3割です。今後も生活面でのニーズを把握し、改善に努める必要があります。



本学として、
生活面での皆さんの
ニーズを適切に把握し
ていると思いますか。



大学自己評価部会だより

第55号 (平成30年1月)

カリキュラム・ポリシー

大学院歯学研究科(博士課程)では本学の理念および教育研究目標にもとづき、学位授与の方針が明確に定められています。カリキュラム・ポリシーとは、教育目標やディプロマ・ポリシー等を達成するために必要な教育課程の編成や授業科目の内容および教育方法について基本的な考え方を示したものです。

- (1) 高度の専門性を習得することを目的に、所属分野の講義・演習を実施させる
- (2) 包括的な生命科学および臨床の知識と技術を習得することを目的に、専門領域の枠を超えて講義・演習を実施させる
- (3) 生命科学全般の基礎や研究遂行に必要な方法論に関する講義・演習を実施させる
- (4) 歯科臨床および研究に応用することを目的に、医工学と連携した講義・演習を実施させる
- (5) 英語を用いた講義・演習を充実させる
- (6) 国際性の向上のため、外国語によるプレゼンテーションや論文作成能力を養成する講義・演習を実施させる
- (7) 学内外を問わず高度な研究能力を有する専門家を招聘し、講義・演習を充実させる
- (8) 海外の大学への短期間研究留学を経験するための実習を充実させる

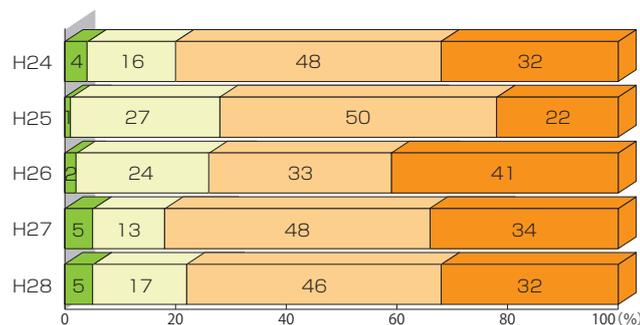
アンケート調査結果を報告します

大学院生の履修科目についての満足度、履修の方法や制度の理解度および研究の実態などについて、平成24～28年度の5年間を比較しました。

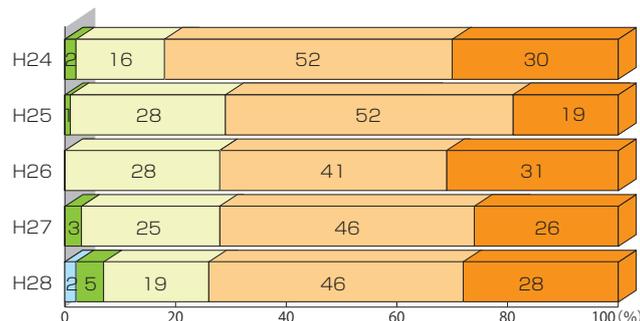
① 主科目および副科目・選択科目に対する満足度

大学院では毎年講義内容の見直しを行い講義・実習の充実を図っています。70%以上の学生が「高い」「少し高い」満足度を感じています。

主科目に対する
満足度



副科目・選択科目に
対する満足度

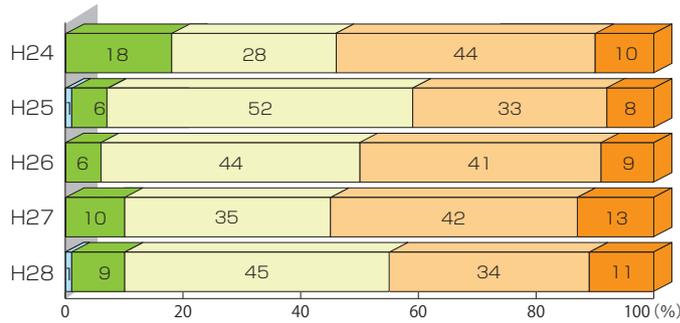


② 授業要綱や学習相談などについて

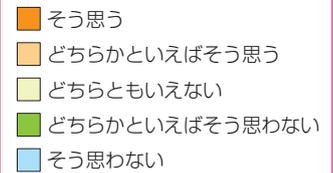
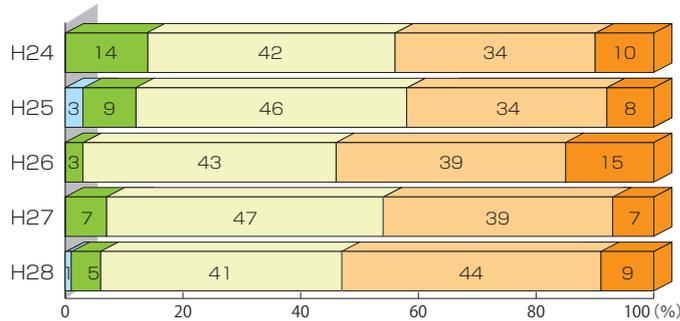
大学院生が大学に求めるものは個々に異なりますが、ニーズを理解されていないと感じる学生には大学院のカリキュラム・ポリシーを周知するとともに意見を求める工夫が大切です。



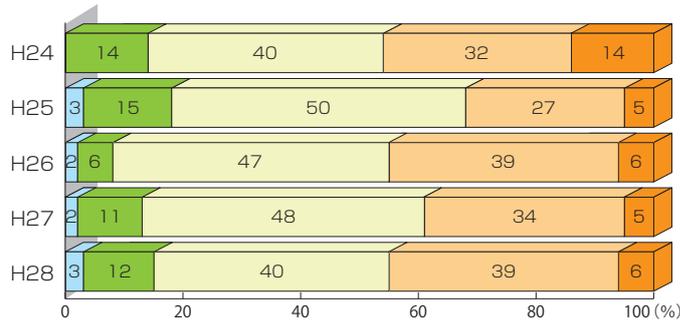
授業要綱は判り易いですか



学習相談や助言などは適切に行われていると思いますか



大学は皆さんのニーズを適切に理解していると思いますか

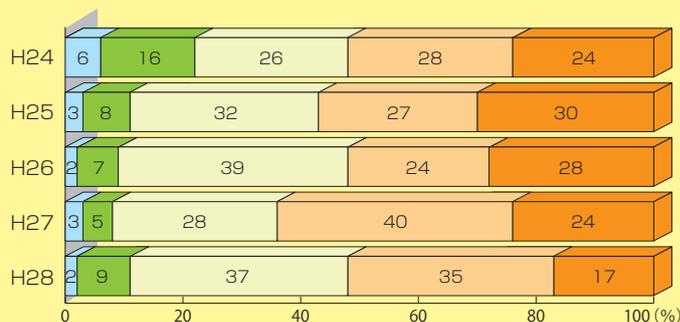


③ 研究指導に対する満足度

研究指導に対して満足度の低い学生の割合は低く推移していますが、指導教員の先生方はその存在に留意して大学院生との密なコミュニケーションを心がけてください。



現在の研究指導に満足していますか



この「大学自己評価部会だより」にご意見の方は kikaku@kyu-dent.ac.jp へお願いいたします。

大学自己評価部会だより

第56号 (平成30年3月)

アンケート調査結果を報告します

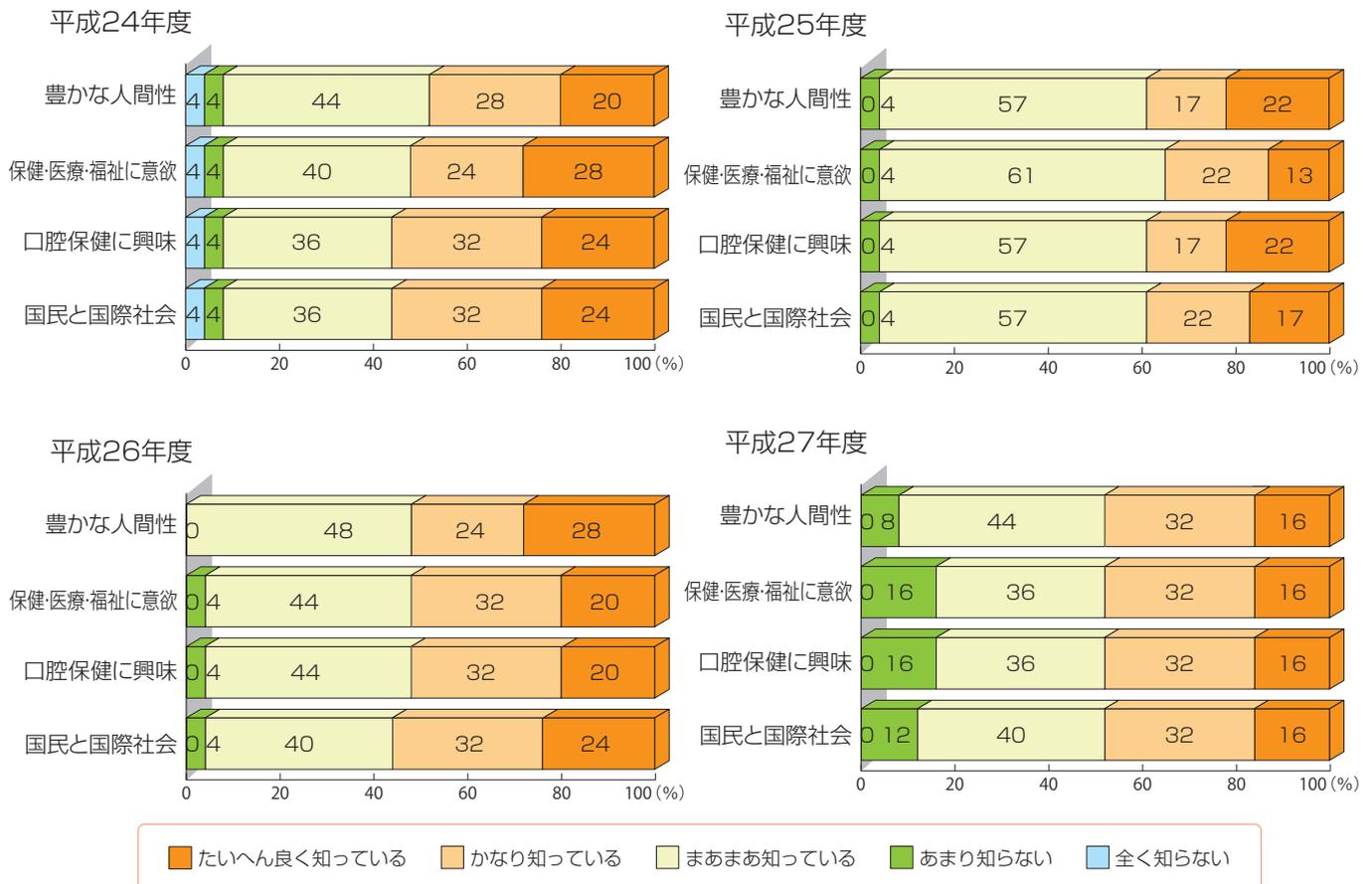
平成24年～27年度の口腔保健学科1年生および平成23年～27年度の歯学科1年生において、各学科のアドミッションポリシーの周知度について比較しました。

口腔保健学科のアドミッションポリシー（求める学生像）

- (1) 豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、相手の気持ちを理解できる人
- (2) 保健・医療・福祉に対して意欲的に取り組み、新しい課題に意欲的にチャレンジする人
- (3) 口腔保健に強い興味を持ち、生涯を通じて学習意欲を持続できる人
- (4) 口腔保健活動を通じ、国民の健康増進および国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人

口腔保健学科におけるアドミッションポリシー周知度

各項目の周知度は高い状態を保っていますが、平成27年度の回答では全ての項目で「たいへん良く知っている」がやや減少し、「あまり知らない」が増加してしまいました。周知度の維持・向上を期待します。



歯学科のアドミッションポリシー（求める学生像）

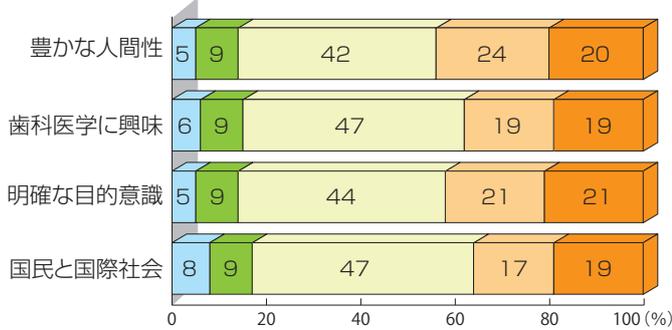
- (1) 豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、相手の気持ちを理解できる人
- (2) 歯科医療および歯科医学に興味を持ち、自ら新しい課題に意欲的に取り組もうとする人
- (3) 歯科医療および歯科医学について明確な目的意識を持ち、生涯を通じて学習意欲を持続できる人
- (4) 歯科医師として国民の健康増進および国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人

歯学科におけるアドミッションポリシー周知度

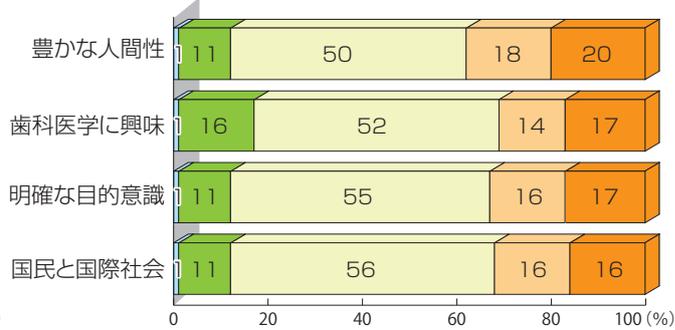
平成27年度は、過去5年間で最も良い結果となりました。しかし、まだ口腔保健学科1年生の周知度には及びません。さらなる周知度の上昇を望みます。



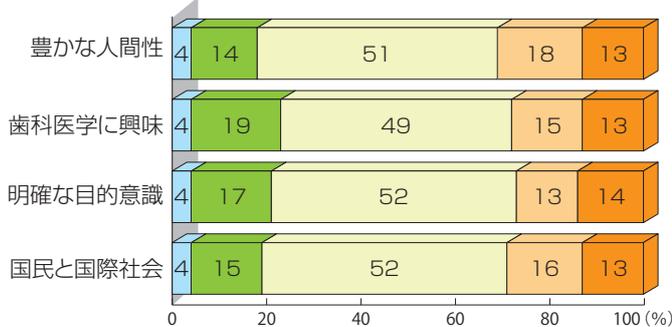
平成23年度



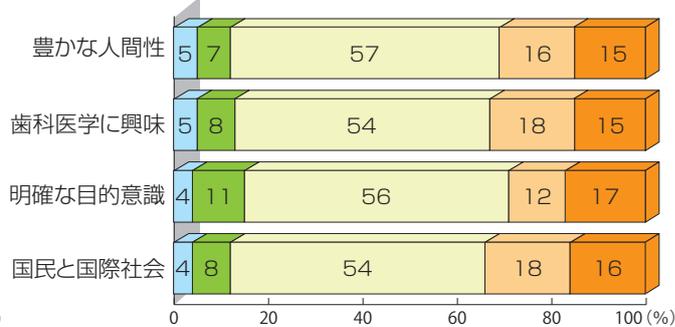
平成24年度



平成25年度



平成26年度



平成27年度

